



齊藤三寛社長

ニュース&ファイル

News & Files

トがM&A事業を展開

人材サービスのアスクゲー

人材派遣や飲食店運営などを手掛けるアスクゲート（本社・札幌、斎藤三寛社長）が、企業の後継者不足や事業のスリム化を手助けするM&A事業を新たにスタートさせた。

人材派遣業をはじめ、飲食店や介護施設、リサイクルショップの運営、自動車整備業など、業種を問わず幅広い実績を持ち、手掛けた事業や店舗を黒字化と安定経営へと導いている。

アスクゲートのM&Aサービスは、市場で一般的に実施されている企業間を結びつける仲介業ではなく、同社自身が直接合併や譲渡などを引き受けた事業を継続発展させるサービスだ。

元請けとなる企業が直接取引をおこなうことで、譲渡する側に安心感を与えるほか、コンサルティング料や仲介手数料といった経費もかからないのが特徴だ。これまで同社は、主軸の

「続けたいが後継者がいない。本業以外の事業を手放したい」といった経営者の方はぜひ一度相談して欲しい。当社は仲介ではありません。大事に育てた企業や事業を責任を持つて直接運営にあたり、築き上げた会社的な信用も維持していく

斎藤三寛社長。
同社のグループ企業である道央自動車（本社・札幌）もこの事業の成功例で、企業と職員を引き継ぎつつ経営を安定化、創業者も相談役として残り、愛着ある会社をサポートしている。



アスクゲート本社

大森圭准教授を招き「カラダボACADEMY」を開催

リハビリ特化型デイサービス施設「カラダボ

「カラダラボ」は、北海道文教ラボによる、北海道文教招き「カラダラボACADEMY」を開催。介護現場でのさらなる技術の向上に努める。

札幌圏を中心に8施設を開拓するリハビリ特化型デイサービス「カラダラボ」では、5月21日に生体力学に詳しい北海道文教科学の大森圭准教授（人間科学部理学療法科）を招き、独自の勉強会「カラダラボACADEMY」を開催した。同勉強会は、同施設で働く

く介護福祉士・理学療法士を対象に開かれているもので、今回で4回目。介護現場におけるスタッフのレベルアップ、サービスの向上を目的に、2カ月に1度の頻度でおこなわれている。

今回は、大森教授が人体

における筋肉の構造・仕組みのほか、「レッドコード」の基礎から応用までを、プロジェクトを使いながら説明した。

レッドコードはノルウェーで誕生した運動療法のツールで、天井から垂らした紐に腕や脚、体をさせて体のこわばりを治したり、トレーニング（高齢者からプロスポーツ選手まで）に活用されたりと用途の幅が広いのが特徴。日本ではまだ導入している病院が少ないが、同施設では各店舗すべてにレッドコードが備えられており、中心的なリハビリツールとなっている。

大森教授は理学療法士（修士）で、徒手療法、レッドコード、バイオメカニクスなどが専門。レッドコードに関しては道内の第一人者で、今回も自身がノルウェーで体験した現場の画像を交えながら、詳しく解説した。



カラダラボスタッフ